



## 稲刈り体験をしました。(5年生)

地域学習活動指導員の方が所有している田んぼをお借りし、5月8日(月)に稲の苗を植えました。稲刈りまでの約4か月間、幸いにも台風の直撃がなく、夏場は日照時間も多くあったことから、稲がすくすくと生長し、立派な稲穂が実りました。これまでの間、地域学習活動指導員の方には除草作業や害獣対策、落水等で、大変ご苦勞をおかけしました。夏休みの期間、田んぼに稲の生育の様子を見に来た子ども何人かいたようです。9月21日(木)には、午後から子どもたちが稲刈りと稲穂の脱穀作業を体験しました。一人ひとりが鎌(かま)を使って稲を刈り、3束ぐらい揃ったところで稲の株のもとをそろえて縛り、もみを取り分けるために脱穀機にかけていきました。現在は機械化が進んでいるので、コンバインを使って稲刈りが行われている様子を見たことがある子は多いようですが、自分で鎌(かま)を使って稲を刈ったり、足踏み脱穀機を使って脱穀したりするのは初めてで、興味や関心を持って作業をしている子がたくさんいました。田んぼでの作業でしたので、虫がたくさん寄ってきて「キャー、もう虫いやだー」と言っている子も中にはいました。なかなかできない貴重な体験の機会になったことと思います。

脱穀後は、どれだけのもみを取り分けできたのかを確認しました。シートに取り分けたもみを米袋に入れると4袋ぐらいになっていて、子どもたちは大変喜んでいました。学校に米袋を持ち帰り、現在、管理棟の3階廊下にシートを広げ乾かしています。この後、もみすりをし、口に入れることのできるお米になっていきます。



## 陶芸体験をしました。(3年生)

9月25日(月)、2, 3限目に3年生は陶芸体験(萬古焼の作品づくり)をしました。「四日市萬古焼酔月陶苑」さんから2名の指導者の方に来ていただき、子どもたちのランプシェード(ランプや電灯の笠)の制作指導にあたっていただきました。子どもたちは、円筒の形をした粘土を、星形やハート形、花びらの形等をしたクッキーの型等を使ってくり抜き、好きなようにデザインして思い思いの作品を作りました。ちょっとした曲線を入れたり、くぼみをつけたりしている子もいました。作業が終わると「四日市萬古焼酔月陶苑」さんの指導者の方に、できた作品を持って帰っていただきました。この後、粘土をかまどで焼いて萬古焼の作品に仕上げてくださいます。1か月後ぐらいには、焼きあがった作品を子どもたちのもとに届けていただけるそうで、うまくいけば11月5日(日)の授業参観日には、作品展示ができるかもしれません。萬古焼は、かまどで焼くとつやが出て、きれいな作品になります。身近な形で四日市の伝統工芸品である萬古焼の魅力にふれることができ、いい経験ができたことと思います。今からできあがりを楽しみます。



## 観劇をしました。(全学年)

9月26日(火)3, 4限目に、体育館で全学年が劇団かかし座による「長靴をはいたねこ」のかげ絵劇を見ました。物語が上演される前には、学年代表の子どもたちがステージに上がり、かげ絵体験をさせていただきました。子どもたちも劇団員の人たちがやっている手のかげ絵の形をまねしてやっていました。舞台裏では場面によって何種類もの人形を使い分け、ねこが走る場面など、2人遣いの人形も登場しました。劇団員さん4人が配置転換を含め、かげ絵が重ならないようにとか、音楽にずれないようにとか、細かいところまで確認をされていて、さすがプロだなあって感じました。最後に、6年生の代表の子が劇団員さんたちに向けて、お礼のあいさつをしてくれました。全校児童が、同じかげ絵劇を見て、充実した時間を過ごすことができ、よき思い出になったことと思います。

(文責 北住 昌文)